

会議結果報告書

平成28年3月10日

会議の名称	福祉センター機能移転に係る意見交換会
開催日時	平成28年3月10日(木) 14時00分～15時00分
開催場所	福祉センター 2階 集会室
出席者	利用者約65人
内容	(1) あいさつ (2) 説明及び意見交換
説明者	高齢者ふれあい課近藤課長、吉田主幹、政策推進課松永課長、吉田主事、福祉課山崎課長
内 容 の 記 録	
<p>(2) 説明及び意見交換</p> <p>市) 移転背景及び経過説明。</p> <p>利用者) 風呂の利用が一番多いので是非作ってほしい。</p> <p>市) 館内に作るの難しい所もあるが、意見を認識している。意見を持ち帰る。</p> <p>利用者) 東日本大震災時は大変であった。平成29年度の工事を待たず、現在のセンターの利用を控えてでも安全を確保してほしい。デマンド交通を継続してほしい。</p> <p>市) 機能移転前までは、福祉センターを利用する予定である。平成28年度は老朽化により、第二福祉センター風呂改修設計を予定しているため、両センターの風呂の利用不能を避けたいため、総合的に検討する。デマンドは、平成28年度は料金体系(距離によって3段階で300円、500円、1,000円)を変更し継続する。</p> <p>利用者) 総合福祉センターの駐車場に、福祉センター用の風呂を先に移転し作ってほしい。</p> <p>利用者) 麻雀のスペースを新座市からの利用者もあり多いので、広くとってほしい。</p> <p>市) 要望として検討する。</p> <p>利用者) 設計期間の1年間は官庁だから遅い。総合福祉センターは大改修し使用できなかった。工事期間中他の3、4、5階は利用できるか。工事は1年もかかるのか。</p> <p>市) 前は外部改修で、配管も含め工事だけで約10か月を予定し、他の機能移転もあるため内部改修の時間はかかる。福祉センターは耐震工事を実施しており、耐震性能がある。</p> <p>利用者) ふれあい号の利用は継続してほしい。デマンド交通はどうなっているか。</p> <p>市) ふれあい号は、平成28年度は継続し今後市民も含めた意見を踏まえ、検討していくこととしている。デマンドは、平成28年度から本格実施となる。</p>	

利用者) 要望として、トラブル防止のため、移転先での運営に各レクリエーションの責任者を付けてほしい。

利用者) 要望として、総合福祉センターのエレベータは2台のうち1台しか動いていないので動かしてほしい。また、つかみ易い手すりに改善してほしい。

市) 確認し検討する。

利用者) 65歳くらいの人口が多い。移転後スペースは福祉センターと同等以上でないとし市の福祉政策として不十分である。

市) 今後、団塊の世代が65歳以上となり高齢者が急増することから、本来の設置目的である健康や介護予防の目的を果たせるように検討する。

利用者) 土、日、祝祭日の開所は行ける場所が確保できありがたい。麻雀は利用人数が多いので、具体的広さやレイアウト案はいつ出るか。

課長) 意見を踏まえ、今後設計で案を決定していく。例えば他の利用者とも相互利用のあるトイレ等は改修予定である。

利用者) 現在、以前と変わって麻雀の利用時間は制限されており、午後は利用者が多いため順番が回らず手持無沙汰になるため改善してほしい。今後どのように利用できるか。

市) 摂食等の実態を踏まえ健康面を配慮し時間制限している。夜間の諸室の貸出も検討中である。

利用者) 夏の暑い時間に、締め出されてしまうと堪らない。

市) 今後、夜間利用等も含み検討予定である。

利用者) 総合福祉センターの1階ホールを改修の際に、いろは遊学館のホールぐらいに間仕切りし、利用できるようにしてほしい。(終了後)

利用者) お風呂の王様の利用助成を行ってほしい。(終了後)

以 上